

第五十回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件

(米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出))

委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十四年二月七日(土曜日)
議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレ
タリ

岡部 次郎君 西 英太郎君

阿由葉勝作君 太田信治郎君

吉原 義雄君 黒田重兵衛君

原田 十衛君 吉植庄一郎君

福井 甚三君 池田 龜治君

丹下茂十郎君 井上敬之助君

木村政次郎君 高橋熊次郎君

渡邊 祐策君 松山兼三郎君

西村丹治郎君 土居 通憲君

岡部 次郎君 西 英太郎君

阿由葉勝作君 吉原 義雄君

黒田重兵衛君 原田 十衛君

福井 甚三君 井上敬之助君

木村政次郎君 高橋熊次郎君

渡邊 祐策君 土居 通憲君

年長者黒田重兵衛君投票管理者トナル

○黒田投票管理者ハ委員長及理事ノ互

選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○阿由葉委員ハ投票ヲ用キス井上敬之

助君ヲ委員長ニ吉原義雄君松山兼三郎

君土居通憲君ヲ理事ニ推薦スヘシトノ

意見ヲ提出ス

○黒田投票管理者ハ阿由葉君ノ意見ニ

異議ナキヲ認メ井上敬之助君ハ委員長

ニ吉原義雄君松山兼三郎君土居通憲君

ハ理事ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

〔井上敬之助君委員長席ニ著ク〕

○井上委員長ハ就任ノ挨拶ヲ述ヘ散會

ヲ宣告ス

于時午前十時四十五分

會議

大正十四年二月十三日(金曜日)午前十

時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 井上敬之助君

理事 山田 助作君

理事 松山兼三郎君

理事 土居 通憲君

理事 高田 耘平君

理事 阿由葉勝作君

理事 佐藤 實君

理事 原田 十衛君

理事 福井 甚三君

理事 池田 龜治君

理事 丹下茂十郎君

理事 木村政次郎君

理事 高橋熊次郎君

理事 八田 宗吉君

理事 西村丹治郎君

同月九日委員黒田重兵衛君吉原義雄君

辭任ニ付共ノ補闕トシテ山本勝次君

山田助作君ヲ同月十日委員岡部次郎君

辭任ニ付共ノ補闕トシテ高田耘平君ヲ

同月十二日委員渡邊祐策君辭任ニ付共

ノ補闕トシテ八田宗吉君ヲ同月十三日

委員太田信治郎君辭任ニ付共ノ補闕ト

シテ佐藤實君ヲ就レモ議長ニ於テ選定

セリ

同月九日理事吉原義雄君辭任ニ付共ノ

補闕トシテ今十三日山田助作君理事ニ

當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

農商務政務次官 三土 忠造君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律

案(政府提出)

○井上委員長 是ヨリ開會ヲ致シマ

ス、先ヅ政府ノ提出ノ説明ヲ承リマシ

テ、引續キ通告ノ順ニ依リマシテ質問

ヲ許シマス

○三土政府委員 此度ノ改正案ノ字句

ハ洵ニ簡單デアリマシテ、需給調節ト

アリマシタノヲ、數量及市價ノ調節、斯

ウ云フヤウニ直シタノデアリマシテ、

洵ニ簡單デアリマシガ、併シ其結果ハ

隨分重大ナモノデアリマスノデ、是マ

デ需給調節ト云フ言葉デ規定シテアッ

タ、デアリマスガ、一體需給調節ト云

フ言葉ヲ廣イ意味ニ解釋致シマスナラ

バ、自然價格モ這入リマス譯デアリマ

スケレドモ、立法ノ當時ヨリシテ、政府

ガ本法ハ數量ヲ調節スルノデアルト云

フコトヲ始終唱ヘテ居リマシタ爲ニ、

一般ニ政府ノ運用モ其積デヤッテ居リ

マスシ、社會ニ於キマシテモ調節ト言ヘ

バ數量調節ト斯ウ考ヘテ居リマスルカ

ラ、非常ニ窮屈ナモノトナッテ居ルノデ

アリマス、然ルニ數量ノ調節ノミデハ

市價ノ安定ヲ圖リ、價格ノ亂高下ヲ防

止シテ、サウシテ生産者及ビ消費者ノ

安心ヲ買フコトガ出來ナイト云フヤウ

ナコトカラシテ、價格ニ對シテモ調節

ヲスル途ヲ開クト云フコトハ、屢、議會

デ論議サレタ問題デアリマス、政府ニ

於キマシテモ實際ノ運用ニ鑑ミマシ

テ、單ニ數量ト云フヨリモ價格ヲ調節

ノ範圍ニ入レルト云フコトハ、米穀法

運用上圓滑ニ行キ、且ヅ米穀法制定ノ

目的ニ合致スルト考ヘマシテ、茲ニ改

正案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何

レ詳細ハ御質問ニ應ジマシテ申述ベル

コト、致シマス

○八田委員 此米穀法ノ改正ノ事ニ付

キマシテハ、多年議會ヨリ其他農會方

面ヨリノ希望ヲ現政府ハ之ヲ容レテ御

提案ニナッタ次第デアリマスルカラシ

テ、頗ル満足スル次第デアリマスルガ、

茲ニ此法律ニ斯様ナ市價ト云フヤウナ

文字ヲ御入レニナッタト云フ點ハ、喜ビ

ニ堪ヘナイ次第デアリマス、ケレド

モ、之ヲ運用スル上ニ於テ其宜シキヲ

得ザレバ、全ク空文ニ丁ルコトニナッテ

參ルノデアリマス、又此米穀法ヲ制定シマスル際ニ於テ政府ハ即チ數量ノ調節ヲ主トスルノデアルト云フコトデアリマシタカラシテ、吾々ハ之ヲ深ク信シタノデアリマス、數量調節ヲ徹底的ニヤレバ確ニ市價ニ影響ヲ及ボシテ、サウシテ相當ノ價格ニ達スルコトハ當然ノ歸結デアアル、然ルニ從來ノ政府ハ米ヲ買フト云フコトヲ聲明シマシテ、百萬石ヲ買フコトヲ二回モ聲明シテ、サウシテ買上ゲナイ、百萬石ハドウシテモ買上ゲナイト云フト、數量ノ調節上困ルト云フ見地カラシテ發表シタニ拘ラズ、僅ニ三十萬石、二十萬石其位ヲ買上ゲテ、後ハ止メテシマッタノデアアル、數量ノ調節ヲスルニハ百萬石ナラ百萬石ヲ徹底的ニ買フナラバ、相當ノ價格ニナツテ、サウシテ農民ノ生産費ヲ償フダケノ市價ニ達スルノデアルケレドモ、其數量調節ヲ徹底的ニヤラナケレバ、徒ニ空文ニ了ッテシマフノデアアル、此價ノ調節ノ方ニモ重キヲ置カズ、數量ノ調節ノ方ニモ重キヲ置カザルモノトナツテ、此農民ノ期待シタル米穀法ナルモノガ、却テ不利ニナリ、消費者側ニ利益ナ運用法ニナッタコトハ、頗ル遺憾トスル所デアリマスルガ、要スルニ米價ノ調節ヲスルト云フ意味デ、此處ニ價ト云フ文字ヲ入レテ以テ、市價ニ變動ノ無イ所ノ生産費ヲ償フダケノ價ヲ得セシメント欲スル所カラ、政府ハ之ヲ入レラレタト云フコトハ信ジマス

ケレドモ、今申上ゲル通り法ノ運用者其人ニ依ッテ如何様ニモナルト私ハ思フノデアリマス、運用ノ妙ハ人ニ存スル、本當ニ此生産者側ニ厚イ同情ヲ持つテ運用スルナラバ、私ハ從來ノ政策デヤッテモ差支ナカッタノデアリマス、之ヲ徹底的ニヤラナカッタカラサウナツタノデアリマス、假令此價ト云フ文字ヲ此處ニ入レルトシテモ、本當ニ此生産側ニ對ズル所ノ厚キ同情ノアル運用者ガ、其法律ヲ實行シテ行クニアラザレバ、目的ハ達セラレヌト云フ危惧ノ念ヲ懷カザルヲ得ヌノデアリマス、吾々ハ疾クヨリ此生産者側ニ對シテ、頗ル同情ノ位置ニ立ッテ居ルノデアリマス、吾々ハ此見地ヨリ當局ノ意見ヲ確メテ、段々ニ本案ヲ審議致シタイと思ヒマス、私ハ此ニ至ッテ御聽キ致シタイ、今市價ト云フ文字ガ法文ニ新シク載ッテ參リマシタ、市價ト云フコトハ今ノ東京市場ニ於テハ三十八九圓ノ値段ヲ致シテ居ルノデアリマス、此三十八九圓ノモノガ地方ニ至ッテ如何ナル之ガ價ニナツテ居ルカト云フコトヲ申上ゲマススト云フト、私ノ郷里ノ今日アタリノ一石ノ單價ト云フモノガ三十二圓、サウシテ兎角此市價ト云フモノハ東京市ヲ標準ニスル、或ハ大キナ都會地ノ大阪トカ神戸トカ、斯ウ云フヤウナ方面ノ市價ニ標準ヲ取ッテ、市價ノ標準トセラル、ヤウデアリマスケレドモ、是ハ地方ノ本當ノ生産者側ニ於ケル所ノ

相場ニ準據スルコトガ、私ハ一番至當デアラウト思フ、今日地方ノ相場ハドウカト申シマス、三十二圓ソコノ單價——四斗俵十三圓、サウシテ一地方地方ハ今高イ所ノ肥料ヲ使ッテサウシテヤッテ居リマスルノニ、市街地附近ニ於ケル此相場ハ高ク、地方ニ於ケル相場ハ斯様ニ安イノデアアル、斯様ニ懸隔ガアツテハ農民ハ到底ヤッテ行ケルモノデハナイ、之ガ只今ノ狀態デアアル、吾々ハ農村ノ一員トシテ實地ノ上ニ於テ痛感スル事ヲ申上ゲルノデアリマス、政府ハ此邊ニ對スル市價ノ調節ト云フ事ニ付テドウ云フヤウナ御考ヲ持ッテ居ラレカ、御意見ノアル所ヲ伺ッテ、サウシテ質問ヲ更ニ繼續シタイと思ヒマス

○三土政府委員 是マデノ數量主義ヲ執ッテ調節致シテ參ッタ經過ニ鑑ミマシテ、例ヘバ百萬石ヲ買フト云フコトヲ、政府デ數量調節ガ必要ト考ヘテ發表致シマシテ、實際買付ニ着手致シマシタ所、三十萬石シカ買上ゲナイデ止メタコトハ度々アルノデアリマス、ソレハ八田君カラ屢々聽ク意見デアリマスガ、三十萬石買ッテ止メタト云フコトハ——百萬石買フ方ガ其一時ノ市價ハ上リマスケレドモ、能ク考ヘテ見マスルト云フト、三十萬石買フ所ヲ無暗ニ百萬石買フト云フコトハ、生産者ノ爲ニ損カ得カト云フコトハ、其當時ダケハ澤山買ッテ貰ッタ方が得デアリマスケレドモ、元來此米ノ相場ト云フモノハ政府ガ持米ヲ多ク持ッテ居ルト、其市價ガ押ヘラレルノデアリマス、政府ガ買上ゲタ米ヲ焼イテシマフトカ海ノ中ニ棄テルト云フコトハヤルベキモノデモナイ、政府ガ百萬石ノ米ヲ買上ゲル、成程其時ハ相當ニ市價ハ上リマス、併シ之ヲ持ッテ居ル爲ニ長イ間彼等ハ頭ヲ押ヘラレルノデアリマス、故ニ此持米ハ成ベク少ク政府ガ米ヲ買上ゲヌ方ガ宜カラウト私ハ思ヒマス、成ベク持タヌ方ガ生産者ノ爲ニ得デアリマス、消費者ノ側カラ言ヘバ政府デ以テ買上ゲタ方ガ得デアリマス、又持米ガ政府ニアルト相場ヲ押ヘルノデ、商人ノ方ニ於テモ中々強氣ニ買ヘナイデアリマスカラ、政府ガ米ヲ澤山持ッテ、ズツ居ルト云フコトハ、消費者ニ得デアッテ生産者ニ損ニナルノデアリマスカラ、百萬石米ヲ買上ゲレバ徹底的ニ必ズ相當ナ價格ニ維持サレテ行クト云フナラバ兎モ角、買ハヌ方ガ寧ろ生産者ニ得デナカラウト私ハ思フノデアリマス、併シ數量ト云フコトヲ極端ニ申シマスルト、買フト言ッタダケハ買ハナケレバナラヌ譯デアアル、併シソコ等ハ數量主義デハ生産者ノ爲ニモ、消費者ノ爲ニモ餘リ宜クナイト云フ所カラ、市價ト云フコトヲ入レテ市價ガ相當ニ維持サレレバ買フト云フ米ヲ買ハナイデ済ム、市價ガ維持セラレナケレバ、買フト云ッタ以上ニ買フト云フコトニシナケレバ

ナラヌ、ソコデ只今ノ質問ハ米穀法ヲ運用スルニ當ッテ、東京、大阪等ノ大消費地ノ市價ヲ押ヘテヤルカライカスト云フコトデアリマシタガ、是ハ何處ノ市價ヲ押ヘテモ同ジデアルト思フ、例ヘバ東北地方ノ仙臺トカ、酒田トカト云フヤウナ所ノ相場ヲ押ヘテ、其邊ノ實米ノ取引相場ヲ押ヘルトシテモ、東京、大阪ノ相場ヲ押ヘテヤルトシテモ、ソレハ同ジコトデアルト思フ、矢張生産者ト消費者ト兩方ヲ見テ其安定ヲ得セシムルト云フコトガ米穀法ノ目的デアリマスカラ、東京ノ價格ハ運賃、口錢等ガ加ハッテ居ルガ爲ニ、自然地方ヨリ高イ、高イノヲ標準ニシテ買ウテ、高イ市價ヲ目當ニシテ行クナラバ、下ゲル時分ニモ其市價ヲ標準ニシテ下ゲルカラ、ソレヲ地方ノ市價ヲ標準ニスレバ低ク定メルカラ、下ゲル時モ低クナリマスカラ、ソレハ比例上同ジデアリマス、然ラバ今日ノ正米市場ノ相場ハ東京デハ三十九圓臺デアルガ、東北地方デハ三十二圓位ニシカ付カヌ、三十二圓カ三十一圓カ正確ニハ今分リマセヌガ、併シ大體ニ考ヘテ全國ノ生産者ノ方面ヲ見テ生産費ガドウナルカ、算盤カラハ知リマセヌケレドモ、誰ノ聲ヲ聞キマシテモ今日ノ四十圓堀ミノ相場ヲ保ッテ居レバ、是デ宜シイト云ッテ居ルノデアリマス、此東京大阪ノ正米市場ノ相場ヲ保ッテ居レバ、農家ハ先ヅ宜シイ、之ヲ下ゲタヤウニシテ吳レト云

フノガ農商務省ニ於テ始終聞ク聲デアリマス、私共ハ矢張米穀法ノ運用ニ付テハ東京大阪ノ如キ大消費地ノ相場ヲ押ヘルノモ、地方ノ相場ヲ押ヘルノモ同ジダト斯ウ考ヘテ居リマス

ウ云フヤウナ形勢デハ一時的ノモノデアル、一時的ニ宜シイト云フコトガ一番必要デアル、中農小農ハ一時的デアリマス、十一月カラ一月二月邊リマデ持ッテ居ルモノハ餘程良イ方デアテ、短期間相當ノ價格ヲ維持スルト云フコトガ必要デアル、一時的デナク永久的デナケレバナラヌト云フヤウナ御考ハ私共深ク遺憾トスル、一時的ノ救済方法ヲ御執リ下サルト云フコトガ一番必要デアルト信ズル、併ナガラ市價ト云フ文字ヲ入レラレタノデアリマスカ、先程モ申シマシタヤウニ運用者其人ニ依ッテドウデモ出來ル、運用ノ妙ハ人ニ在スル、宜シク其邊ハ現政府ニ對シテ信賴スル、吾々ハ其懷抱サレテ居ル所ノ精神ヲ諒トシテ居リマスルガ、茲ニ今ノ點ニ於テ一寸疑義ヲ起シマシタ點ヲ御參考ニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ又東京ノ市價ガ斯ウデアルカラ地方モソレニ影響スルト云フコトデアリマシタガ、固ヨリ影響シマス、併ナガラ四十圓ト云フ市價ハ、地方ニ行ッテ見ルト前ニモ申ス通り、肥料ハ高イ、運賃ハ高イ、高イ運賃ヲ拂ヒ高イ肥料ヲ入レテ、賣ル所ノ物ハ安イノデアリマスカラ、地方ニ於テハ非常ニ悲境ニ陥ッテ居ルノデアリマスカラ、生産者ヲ保護スルト云フ意味カラシテ此米穀法ノ運用ヲヤッテ戴カナケレバナラヌ、米ノ價スラ維持スルコトガ出來ナクシテ、今日ノ農村ノ衰頹ヲイツノ日ニカ挽回スル

コトガ出來マセウカ、米價ニシテ相當ノ價格ヲ維持シテ生産費ヲ償フ點ニ達シテ居レバ、農村ハ全ク平和ノ農村ニナル、地主モ喜ブ小作人モ喜ブ、小作爭議ナドハ起ラナイノデアリマス、地主モ小作人モ満足スル程度ノ價ヲ維持スルコトガ一番爲政者ノ念トスベキ所ノ大眼目デアルトスト思ヒマス、吾々ノ聞ク所ニ依リマス、昨年相當ノ價格ヲ維持スベク努メラレタトキニ、消費者ハ尙追狀ヲ農商務大臣ニ送ッタト云フコトヲ聞イテ居リマス、都會地ノ消費者ハ、現政府ガ米ヲ安クシナイヤウナ手段ヲ執ルノハ不都合デアルト云ッテ脅迫狀ヲ送ッタト云フコトハ聞イテ居リマスガ、米ガ相當ノ價格ヲ維持シタカラト云フニ付テ、農民方面カラ感謝狀ヲ贈ルト云フ、ソコマデ諒解シテ居ラナイ、此憐レナ農民ヲ奈何ニセント云フ見地カラ、此法律ヲ運用シナケレバナラヌ、商工業或ハ消費者側ハ兎角サウ云フコトニ付テ巧ナル運動ヲスルノデアリマスガ、農民ノ方ハソレガ出來ナイ、故ニ法律ノ運用ニ當ッテハ東京邊ノ市價ト地方ノ市價トノ間ニ隔リガアルト云フ實際ノ狀況ヲ能ク考ヘテ行カナケレバナラヌト思フ實際カラ私ハ立論シテ、東京ノ市價ト地方ノ市價トハ非常ニ隔リガアル、地方デハ未ダ生産費ヲ償フマデニ達シテ居ラナイ、此前ニ米穀法ノ制定セラル、場合ニ、農民運動ガ起ッタ、其當時ハ三十五圓デ

ナラヌ、ソコデ只今ノ質問ハ米穀法ヲ運用スルニ當ッテ、東京、大阪等ノ大消費地ノ市價ヲ押ヘテヤルカライカスト云フコトデアリマシタガ、是ハ何處ノ市價ヲ押ヘテモ同ジデアルト思フ、例ヘバ東北地方ノ仙臺トカ、酒田トカト云フヤウナ所ノ相場ヲ押ヘテ、其邊ノ實米ノ取引相場ヲ押ヘルトシテモ、東京、大阪ノ相場ヲ押ヘテヤルトシテモ、ソレハ同ジコトデアルト思フ、矢張生産者ト消費者ト兩方ヲ見テ其安定ヲ得セシムルト云フコトガ米穀法ノ目的デアリマスカラ、東京ノ價格ハ運賃、口錢等ガ加ハッテ居ルガ爲ニ、自然地方ヨリ高イ、高イノヲ標準ニシテ買ウテ、高イ市價ヲ目當ニシテ行クナラバ、下ゲル時分ニモ其市價ヲ標準ニシテ下ゲルカラ、ソレヲ地方ノ市價ヲ標準ニスレバ低ク定メルカラ、下ゲル時モ低クナリマスカラ、ソレハ比例上同ジデアリマス、然ラバ今日ノ正米市場ノ相場ハ東京デハ三十九圓臺デアルガ、東北地方デハ三十二圓位ニシカ付カヌ、三十二圓カ三十一圓カ正確ニハ今分リマセヌガ、併シ大體ニ考ヘテ全國ノ生産者ノ方面ヲ見テ生産費ガドウナルカ、算盤カラハ知リマセヌケレドモ、誰ノ聲ヲ聞キマシテモ今日ノ四十圓堀ミノ相場ヲ保ッテ居レバ、是デ宜シイト云ッテ居ルノデアリマス、此東京大阪ノ正米市場ノ相場ヲ保ッテ居レバ、農家ハ先ヅ宜シイ、之ヲ下ゲタヤウニシテ吳レト云

フノガ農商務省ニ於テ始終聞ク聲デアリマス、私共ハ矢張米穀法ノ運用ニ付テハ東京大阪ノ如キ大消費地ノ相場ヲ押ヘルノモ、地方ノ相場ヲ押ヘルノモ同ジダト斯ウ考ヘテ居リマス

ウ云フヤウナ形勢デハ一時的ノモノデアル、一時的ニ宜シイト云フコトガ一番必要デアル、中農小農ハ一時的デアリマス、十一月カラ一月二月邊リマデ持ッテ居ルモノハ餘程良イ方デアテ、短期間相當ノ價格ヲ維持スルト云フコトガ必要デアル、一時的デナク永久的デナケレバナラヌト云フヤウナ御考ハ私共深ク遺憾トスル、一時的ノ救済方法ヲ御執リ下サルト云フコトガ一番必要デアルト信ズル、併ナガラ市價ト云フ文字ヲ入レラレタノデアリマスカ、先程モ申シマシタヤウニ運用者其人ニ依ッテドウデモ出來ル、運用ノ妙ハ人ニ在スル、宜シク其邊ハ現政府ニ對シテ信賴スル、吾々ハ其懷抱サレテ居ル所ノ精神ヲ諒トシテ居リマスルガ、茲ニ今ノ點ニ於テ一寸疑義ヲ起シマシタ點ヲ御參考ニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ又東京ノ市價ガ斯ウデアルカラ地方モソレニ影響スルト云フコトデアリマシタガ、固ヨリ影響シマス、併ナガラ四十圓ト云フ市價ハ、地方ニ行ッテ見ルト前ニモ申ス通り、肥料ハ高イ、運賃ハ高イ、高イ運賃ヲ拂ヒ高イ肥料ヲ入レテ、賣ル所ノ物ハ安イノデアリマスカラ、地方ニ於テハ非常ニ悲境ニ陥ッテ居ルノデアリマスカラ、生産者ヲ保護スルト云フ意味カラシテ此米穀法ノ運用ヲヤッテ戴カナケレバナラヌ、米ノ價スラ維持スルコトガ出來ナクシテ、今日ノ農村ノ衰頹ヲイツノ日ニカ挽回スル

コトガ出來マセウカ、米價ニシテ相當ノ價格ヲ維持シテ生産費ヲ償フ點ニ達シテ居レバ、農村ハ全ク平和ノ農村ニナル、地主モ喜ブ小作人モ喜ブ、小作爭議ナドハ起ラナイノデアリマス、地主モ小作人モ満足スル程度ノ價ヲ維持スルコトガ一番爲政者ノ念トスベキ所ノ大眼目デアルトスト思ヒマス、吾々ノ聞ク所ニ依リマス、昨年相當ノ價格ヲ維持スベク努メラレタトキニ、消費者ハ尙追狀ヲ農商務大臣ニ送ッタト云フコトヲ聞イテ居リマス、都會地ノ消費者ハ、現政府ガ米ヲ安クシナイヤウナ手段ヲ執ルノハ不都合デアルト云ッテ脅迫狀ヲ送ッタト云フコトハ聞イテ居リマスガ、米ガ相當ノ價格ヲ維持シタカラト云フニ付テ、農民方面カラ感謝狀ヲ贈ルト云フ、ソコマデ諒解シテ居ラナイ、此憐レナ農民ヲ奈何ニセント云フ見地カラ、此法律ヲ運用シナケレバナラヌ、商工業或ハ消費者側ハ兎角サウ云フコトニ付テ巧ナル運動ヲスルノデアリマスガ、農民ノ方ハソレガ出來ナイ、故ニ法律ノ運用ニ當ッテハ東京邊ノ市價ト地方ノ市價トノ間ニ隔リガアルト云フ實際ノ狀況ヲ能ク考ヘテ行カナケレバナラヌト思フ實際カラ私ハ立論シテ、東京ノ市價ト地方ノ市價トハ非常ニ隔リガアル、地方デハ未ダ生産費ヲ償フマデニ達シテ居ラナイ、此前ニ米穀法ノ制定セラル、場合ニ、農民運動ガ起ッタ、其當時ハ三十五圓デ

ナケレバ賣ラナイト云フ米非賣同盟ヲ致シテ政府ニ迫ツタ結果、米法ガ制定ニナツタノデアリマスガ、アノ當時三十五圓デナケレバ生産費ヲ償フコトハ出来ヌト云フノガ、全國ノ聲デアッタノデアリマス、然ルニ今日地方ニ於ケル實

ス、此輸入税ノ減免ハ米穀法ノ第二條ニ、米穀ノ輸入税ヲ増減若クハ免除スルコト云フコトニナツテ居ルガ、政府ハ未ダ會テ輸入税ヲ増シタコトハナシ、是ハ米穀法ニ於テ政府ノ特ニ當局大臣ガ米穀輸入税ヲ撤廢シタリ、増シタリ、減

創除シテ、若シ必要ガアツタナラバ政府ハ緊急勅令デヤツテ、然ル後ニ議會ノ事後承諾ヲ求ムルヤウナ方法デヤラレルコトガ相當デアラウト思フガ、之ニ付テ政府ハ如何ナル所見ヲ持ッテ居ラルルカ、之ヲ伺ヒタイ

テ共同シテ販賣スルト云フコトニナリマス、自然取引ノ關係ガ違フテ來ルデアラウト思ヒマス、政府ガ今回二十六萬石ノ米ヲ買付ヲ致シマスガ、ソレニ付テモ成ベク地方ノ生産者カラ直接買フコト云フ方法ヲ執リマシテ、從來ヤツテ居ッタ消費地ノ商人ノ手ヲ經テ買フコトヲ避ケテ、出來ルダケ直接ニ生産者カラ買フコトニ致シタイト思ヒマス、ソレニ付テハ例ヘバ受渡期間モ一箇月ト云フ長イ期間ヲ置イテ、全國一齊ニヤルコトニ致シマシタ、是ハ一朝一夕ニハ參リマセヌガ、是ハ段々經濟組織ヲ變ヘテ行ケバ、消費地ト生産地ノ價格ノ開キハ宜シクナツテ來ルト思ヒマス、又小賣相場トノ間ニ非常ナ差ガアリマスカラ、是ハ購買方法販賣方法ヲ變ヘテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ米穀法第二條ニ政府ハ勅令ヲ以テ何時タリトモ關稅ノ増減若クハ免除ガ出來ルト云フコトヲ規定シテアルガ、今迄

バ生産費ヲ償フコトハ出來ナイ、是ハ農民間ニ於ケル實狀デアル、聲ヲ齊シク唱ヘル所デアル、小作人ダカラドウダカ、地主デアアルカラドウダカ云フコトヲ動モスレバ學者等ガ申シマスケレドモ、是ハ全ク机上ノ空論デアルト思フ、地方農民間ノ實際ト云フモノハ、米ガ高クナレバ小作人ハ喜ンデ土地ヲ離レナイ、土地ヲ愛スル念慮ガ盛

除シテシマツタ、ソレカラ大正十二年ニ山本内閣ガ震災ノ爲メ九月十二日以後大正十三年ノ春マデ、此輸入税ヲ免除シタノデアリマス、ソレカラ又大正十三年ノ四月一日以後七月三十一日迄免除ヲシ、而シテ現内閣ニナツテ八月一日以來輸入税ヲ復舊シタ譯デアリマスガ、然ルニ又先般議會ノ開期中ニモ拘ラズ突如トシテ此輸入税ノ免除ヲ爲サツテ、本年ノ八月三十一日迄輸入税ノ免除ヲスルト云フコトニナリマシタノハ、此法律運用ノ上ニ於テ餘リニ吾ミカラ申スト、此免除ハモウ少シ時機ヲ見テヤツテ戴イタラドウカト思フノデアリマスガ、政府ハ此點ニ對シテドウシテモ此法ガナケレバ困ルカラ、何時迄モ此法律ヲ支持スルト云フ考デアリマスカ如何デアリマスカ、吾ミハ此輸入税ノ増減若クハ免除スト云フコトヲ

○三土政府委員 最初ニ御話ニナツタコトハ御質問デハナクテ御希望デアッタヤウデアリマスガ、之ニ付テ一言申シテ置キタイト思ヒマスノハ、東京大阪等ノ大消費地ニ於ケル價格ト、地方ノ價格ニ相當開キガアルト云フコトハ、私共承知シテ居リマス、是ハ思想カラ申スト此價格ノ差ヲ成ベク狭クシナケレバナラヌト思ヒマス、斯ノ如ク價格ノ開キガ大キクナツテ居ルト云フコトハ、詰リ商取引ノ機關ガ極メテ幼稚デアアル關係カラデアリマシテ、中間商人ノ手ヲ多ク潜ル爲メニ斯様ニナツテ居ルノデアリマス、又農家ノ販賣方法モ進歩致シテ居リマセヌ、斯ウ云フコトガ消費地ト生産地ノ價格ノ開キノアル所以デアリマスカラ、是ハ經濟組織ヲ段々改善シテ參リマシテ、中繼商人ノ手ヲ成ベク少クスルト同時ニ、地方ノ生産者ガ米ヲ賣ル場合ニ、或ハ急イデ賣ランデモ宜イ、或ハ共同デ賣ルト云フ風ニシテ行カナケレバナラヌト云フコトカラシテ、彼ノ農業倉庫ノ普及ヲ此財政緊縮ノ場合ニ拘ラズ急イデアラウト云フコトヲ計畫致シタ次第デアリマス、農業倉庫ガ普及シテ、サウシ

テ共同シテ販賣スルト云フコトニナリマス、自然取引ノ關係ガ違フテ來ルデアラウト思ヒマス、政府ガ今回二十六萬石ノ米ヲ買付ヲ致シマスガ、ソレニ付テモ成ベク地方ノ生産者カラ直接買フコト云フ方法ヲ執リマシテ、從來ヤツテ居ッタ消費地ノ商人ノ手ヲ經テ買フコトヲ避ケテ、出來ルダケ直接ニ生産者カラ買フコトニ致シタイト思ヒマス、ソレニ付テハ例ヘバ受渡期間モ一箇月ト云フ長イ期間ヲ置イテ、全國一齊ニヤルコトニ致シマシタ、是ハ一朝一夕ニハ參リマセヌガ、是ハ段々經濟組織ヲ變ヘテ行ケバ、消費地ト生産地ノ價格ノ開キハ宜シクナツテ來ルト思ヒマス、又小賣相場トノ間ニ非常ナ差ガアリマスカラ、是ハ購買方法販賣方法ヲ變ヘテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ米穀法第二條ニ政府ハ勅令ヲ以テ何時タリトモ關稅ノ増減若クハ免除ガ出來ルト云フコトヲ規定シテアルガ、今迄

ニナツテ來ル、又報酬ガ餘計ニナツテ來マスカラ、隨テ農業ヲ厭フ者ガ少クナル、デアアルカラ私ハ徹底的ニ其邊ニ付テノ御諒解ヲ以テ、此法ノ運用ヲ望ムモノデアリマスガ、地方ト東京市ノ市價ニ非常ナ隔リガアルト云フコトダケハ、能ク御考ヘ置テ願ヒタイト思フ、東京ト地方ト同ジニ見テ施設ヲサレルト云フコトハ——私ハ地方ノ實狀ハ餘程遠

見テヤツテ戴イタラドウカト思フノデアリマスガ、政府ハ此點ニ對シテドウシテモ此法ガナケレバ困ルカラ、何時迄モ此法律ヲ支持スルト云フ考デアリマスカ如何デアリマスカ、吾ミハ此輸入税ノ増減若クハ免除スト云フコトヲ

テ共同シテ販賣スルト云フコトニナリマス、自然取引ノ關係ガ違フテ來ルデアラウト思ヒマス、政府ガ今回二十六萬石ノ米ヲ買付ヲ致シマスガ、ソレニ付テモ成ベク地方ノ生産者カラ直接買フコト云フ方法ヲ執リマシテ、從來ヤツテ居ッタ消費地ノ商人ノ手ヲ經テ買フコトヲ避ケテ、出來ルダケ直接ニ生産者カラ買フコトニ致シタイト思ヒマス、ソレニ付テハ例ヘバ受渡期間モ一箇月ト云フ長イ期間ヲ置イテ、全國一齊ニヤルコトニ致シマシタ、是ハ一朝一夕ニハ參リマセヌガ、是ハ段々經濟組織ヲ變ヘテ行ケバ、消費地ト生産地ノ價格ノ開キハ宜シクナツテ來ルト思ヒマス、又小賣相場トノ間ニ非常ナ差ガアリマスカラ、是ハ購買方法販賣方法ヲ變ヘテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ米穀法第二條ニ政府ハ勅令ヲ以テ何時タリトモ關稅ノ増減若クハ免除ガ出來ルト云フコトヲ規定シテアルガ、今迄

免稅トカ減稅ヲ致シタコトハ一度モナイ、之ガ、増稅ヲ致シタコトハ一度モナイ、之アルガ爲ニ始終米價ヲ引上ゲラレルト云フ憂ガアルノデアアルカラ、之ヲ創除シタイ希望デアルト云フ御話デアリマスガ、大體ニ於テ我國ノ米ノ生産額ガ需要ヲ充スニ足ラヌノデアリマス、餘程豐作デアラザル限りハ不足勝デアリマス、ソコデ外米ヲ入レテサウシテ食糧需給ノ關係ヲ圓滑ニシナケレバナラヌト云フ必要カラ、ドウシテモ外米ヲ入レル關係カラ、關稅ヲ撤廢若クハ減稅ヲス

ラ次ハ輸入税ノ減免ノコトデアリマ

入税ノ増減若クハ免除スト云フコトヲ

免稅トカ減稅ヲ致シタコトハ一度モナイ、之

免稅トカ減稅ヲ致シタコトハ一度モナイ、之

ラ次ハ輸入税ノ減免ノコトデアリマ

入税ノ増減若クハ免除スト云フコトヲ

免稅トカ減稅ヲ致シタコトハ一度モナイ、之

免稅トカ減稅ヲ致シタコトハ一度モナイ、之

ルト云フ必要ヲ生ズル場合ガ多イノデ
アリマス、サウ云フヤウナ譯デ今迄増
税ヲスルト云フ場合ガナカタノデア
リマス、併シ此第二條ガアリマスガ爲
ニ外米ヲ餘程支配スルト思フノデアリ
マス、ト云フノハ第二條ニ「勅令ヲ以テ
米穀ノ輸入税ヲ増減若ハ免除シ又ハ其
ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得」
斯ウアルノデアリマスカラ、此實權ヲ
政府ガ握ッテ居リマスガ爲ニ、商人ハ政
府ノ眼顔ヲ見ナケレバナラヌ、ソノ爲
ニ無暗ニ手ヲ出サナイ、政府ガ果シテ
需給關係上此條文ニ依ッテ如何ナル處
置ヲ執ルカト云フコトヲ、外米商人ハ
鋭イ眼ヲ以テ見テ居ルノデアリマス、
之アルガ爲ニ無暗ニ外米ヲ入レルコト
モ出來ナイノデアリマス、若シ此法律
ガナクシテ外米商人ニ委シテ置ケバ、
大體ニ於テ米ガ不足勝ト見レバ、思切ッ
テ外米ヲ輸入シテ、サウシテ安イ外米
ヲ賣ラセマスカラ、内地ノ米ノ相場ハ
叩カレルノデアリマス、此關門ガアル
爲ニ外米ノ輸入ハ無闇ニ入ラレヌ、
政府ノ目顔ヲ見テ始終考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソコデ關稅撤廢ト云フコト
ハ非常ニ米價ヲ引下グルヤウニ御考デ
アリマスガ、實ハ外米ト内地米ト同
ジ商品ト見ルノハ間違フ嫌ヒガアリハ
シナイカト思ヒマス、米ト云フカラ同
ジヤウデアリマスガ、外米ハ大體ニ於
テ白米相場デ以テ内地米ノ半額ニシカ
當ラナイ、關稅ト云フモノハ一體外國

品ト内地品トノ價格ノ近イトキニ於
テ、其差額若クハ差額以上ノ關稅ヲ課
ケレバ、外カラ這入ルコトヲ防グコト
ガ出來マスガ、外米ト内地米ノ如ク非
常ニ價格ノ差ノ烈シイモノニ對シテ
ハ、關稅ノ二圓ヤ二圓五十錢ハドツチニ
シテモ大シタ響キハナイ、唯、外米ヲ成
ベク入レテ、サウシテ内地米ヲ節約シ
テ、端境期ニ近クナタ場合ニ非常ニ米
ノ集散ガ圓滑ニ行カヌヤウナコトガ起
リハシナイカ、サウ云フコトノ防止ヲ
スル爲ニヤルノデアリマシテ、他ノ非
常ナ價格ノ相近イ外國品ト内地品トノ
間ノ關稅トハ大變意味ガ違フト思ヒマ
ス、政府ハ此第二條ノ規定ハ成ベク之
ヲ存シテ置イテ、之ニ依ッテ外米ヲ自由
ニシタイ、自由ニスルト云フコトガ生
産者ニ對シテモ消費者ニ對シテモ利益
デアアル、隨テ價格ノ安定ガ得ラレル、米
穀法ノ主タル目的ハ價格ノ安定、即チ
言換ユレバ値幅ヲ狭クシ、暴騰暴落ヲ
防イデ、高イ時分ト安イ時分ノ値幅ヲ
成ベク狭クスルト云フコトガ目的デア
リマス、農家經濟カラ申シマシテモ米
ガ或ル時ハ五十圓以上、或時ハ二十圓
臺ト云フコトハ非常ニ農家ノ經濟ヲ破
壞スルモノデアアル、四十圓ナラバ四十
圓搦ミノ相場デ大シタ値幅ガナイト云
フコトガ、一番農家經營ノ爲ニハ宜イ
ノデアリマス、斯ウ云フ見地ヨリシテ
第二條ハドウシテモ私ハ活カシテ置イ
テ、サウシテ政府ハ其時機ニ應ジテ或

ハ關稅ヲ撤廢シ、或ハ減免シ、或ハ輸入
ヲ禁止スルト云フコトヲ、自由勝手ニ
スル權能ヲ握ッテ置カナケレバ、米穀法
ノ運用ハ旨ク行カヌ、隨テ生産者モ需
要者モ安定ハ保タレナイ、ソレカラ先
般議會中ニ拘ラズ關稅ヲ撤廢シタコト
ヲ非常ニ御非難ニナリマシタガ、是ハ
本議場ニ於テ私が説明シテ置キマシタ
通り、本年ハ昨年ノ作柄ニ比シマシテ
約五百萬石ノ不足デアアル、不足ト申シ
マスノハ本年十月末日ノ端境期ニ先ヅ
五百萬石ノ持越米ヲ見ルトシテ、ソレ
ダケガ大體不足ニ當ル譯デアリマス、
斯樣ナ年柄ハ何時デモ關稅ヲ撤廢シテ
モ——斯ウ云フ需給關係ニナルコトハ
大體十月頃ニ見エテ居ルカラ、十月頃
ニ非常ニ關稅撤廢ノ運動ガ起ッテ來タ
ケレドモ、私共ハ成ベク生産者ノ爲メ
ヲ圖リマシテ、關稅ハ大シテ影響ハナ
イト思ヒマススケレドモ、生産的ニ多少
影響ヲ及ボシマスシ、又關稅撤廢ト云
フコトニ依ッテ商人ガ色々商策ノ方面
ニ利用致シマスカラ、ソコデ出來得ル
限り關稅ノ撤廢ハ何レニシテモ遅クシ
ナケレバナラヌト云フノデ引延シテ居
ツタノデアリマス、然ルニ御承知ノ通
リ、外米ノ買入時期ハ毎年二月初メカ
ラ三月、四月ト云フノガ一番盛リデア
テ、外米商人ガ段々商談ヲ調ヘテ居ル
時デモアル、之ヲ關稅撤廢ヲセズニ濟
メバ宜イガ、或ル時期ニハシナケレバ
ナラヌ、其時ハ初メニシナイデ途中デ

スルト非常ナ不公平ガ出來ル、又政府
ガ關稅ヲ撤廢スルカセヌカト云フコト
ヲハッキリセヌト、外米商人ハ思切ッテ
手ガ出セヌト云フ關係上、已ムヲ得ズ
ギリ——結著マデ引付ケテ、最後ニ關
稅撤廢ヲシタノデアリマス、之ニ付テ
私共ハ農民ニ對シテ深甚ナ同情ヲ致シ
テ居リマスガ爲ニ、餘程考慮シテ左樣
ナ取扱ヒヲシタノデアリマス
○八田委員 只今、三土政府委員ヨリ
米ノ買上ゲニ付テ成ベク其地方トノ關
係ヲ考慮シテ、直接生産者ヨリ買ヒ、又
農業倉庫ノ方面ニ注意ヲ拂ッテ、其方面
ヨリ買フコトヲ主トスルト云フ御意見
ヲ承ッタコトハ最モ欣快トスル所デ、是
非サウ云フ風ニヤッテ戴キタイ、サウス
レバ初メテ地方ハ助カッテ來ルト信ズ
ルノデアリマス、然ラバ私ハ輸入税ノ
減免ニ付テ茲ニ考ヘマシタ一事ハ、矢
張政府ハ内地米ガ五百萬石ノ不足デア
ルカラシテ、茲ニ外米ノ輸入税ヲ撤廢
スルト云フコトヲナサラウトスル位ナ
ラバ、外米ヲ買入レルノモ政府直接ニ
外國カラ御買ヒニナッタガ宜カラウト
私ハ信ズル、ソレガ動モスレバ商人ノ
手ニ一任ヲスルガ爲ニ、非常ナル色々
ナ煩ヒガ出來テ來ルコトノアルノヲ遺
憾トシマス、成ベク生産者カラ直接買ッ
テサウシテ地方ト都會ト餘リ隔リヲナ
カラシメンコトニナサル精神ハナイモ
ノカ、外米ノ輸入ニ付テモ政府直接買
フト云フヤウナ手段ヲ執ラレル御意思

ハナカラウカドウカト云フコトヲ、一ツ御伺ヒ致シマス、ソレカラモウ一ツハ輸入税ヲ減免スルト云フコトデアリマス、私ハ輸入若クハ輸出ヲ制限スル所ノ當局大臣ノ權能ヲ取上ゲタイト思フモノデアリマス、政府ハ輸入税ノ増減若クハ免除ヲスルト云フコトニナツテ居ルノニ、ソレヲシナイ、即チ大正十一年ノ豐作ノ時ニ輸入關稅ヲ引上ゲタラ宜イノヲ輸入税ヲ引上ゲナイ、内地ガ生産過剩ニ困ッテ居ルトキニ、米穀ノ關稅ニ付テハ何等手ニ觸ル、コトガナイ、農民ガ少シ愁眉ヲ開イテ是カラ吾々ガ助カラウト思フテ居ルノニ、高橋農商務大臣ハ吾々ノ救ハレルトキニ方ツテ、突如トシテ外米ノ輸入税撤廢ヲナサルト云フコトハ、是ハ此所マデ引摺ッテ置カレタ御誠意ハ感謝シマスガ、地方民カラ申シマス、モウ少シ時期ヲ置カレタラドウカ、況ヤマダ機會ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、斯様ナ意味カラシテ輸入税ノ増減トアルガ、從來ハ増シタコトハナイ、撤廢ハ始終ナサツテ居ル、十一年ノ如キ豐作ノ時ニ輸入税ニ付テ何等ノ處置ノ行ハレナカッタコトヲ遺憾トシマスカラ、寧ロ斯様ナ事ハ削除シテ、輸入若シクハ輸入ノ制限ト云フコトハ止メテ頂キタイ、輸入税ノ増減、免除、一切之ヲ當局大臣ニ一任シテ居ルト云フヤウナ關稅法ノ根底トデモ申シマセウカ、左様ナル大權能ヲ當局者ニ一任シテ居ル

ノハ米ニ付テバカリデアル、是ハ農民方面ノ聲ノ低イガ爲メ斯様ナコトニナツテ居ルノデアアルマイカト思フ程デアリマス、之ニ付テ政府ニ於ケル御意見ヲ承リタイ、即チ米ノ買入ヲ生産者側カラ直接スルト云フ事ヲ意トセラレラバ、外米輸入ニ付テモ直接政府ガ行ハレテハ如何デアリマセウカ、然ラズンバ突如トシテ此外米ノ輸入税ヲ撤廢スルト云フヤウナコトノ爲ニ、或ハ不當ノ利益ヲ得ル者、不當ノ損失ヲスル者等ガ出來ルノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、其點ニ付テ外米ノ直接輸入ト云フコトニ付テ如何ナル御考ヲ持ッテ居ルカ、私ノ先程申シタノハ輸入税ノ免除若クハ増減ト云フコトノ文字ダケデ、其外ニハ現在ノ法文ヲ活カシテ置クコトヲ望ムモノデアリマス、其點ニ對スル御所見ヲ……

ト云フト、商人ニ委シテ時機ヲ見テサウシテ適當ニ買フ方ガ、政府ガ買フト極メテ掛カルヨリハ安ク付クノデアリマス、國家全體ノ經濟カラ申シマス、云フト、外米ヲ政府ガ監理ヲシナイ方ガ得デアル、斯ウ云フ考カラ政府ハ今迄外米ヲ政府デ監理セヨト云フ人モアリマシタケレドモ、之ニ對シテ實行ヲ致サヌノデアリマス、又現在吾々ノ研究ニ於キマシテハ外米ヲ政府デ直營ニスルト云フコトハ極メテ經濟上ノ不利益デアル、斯ウ考ヘタノデアリマス、ソレカラ關稅ノ増減ト云フノガアリマスガ、無論非常ナ豐作デアッテ外米ヲ入レテハイカスト云フヤウナ場合ハ適用スル積リデアリマス、唯先程申シマシタ通り十年ナラ十年ヲ平均シテ見マス、云フト、米ノ供給不足ト云フコトノ場合ガ多イノデアリマス、デ之ヲ適用スル場合ハ私ハ非常ニ少イダラウト思フ、適用スル必要ガアレバ何時デモ適用スル積リデアリマス

ルモノト信ジテ居リマシタガ、折角此委員會ガアルニ拘ラズ、此委員會ヲ開催ニナツタコトガ殆ド一二回ダケト開イテ居ル、デハ何等用ヲナサズ、唯當局大臣ハ總テノ事ヲ專斷ナサルト云フコトヲ以テ見ナクチャナラヌト云フコトハ、吾々トシテ甚ダ不安ヲ感ズル、モウ一ツハ此委員會ハ此生産者ヲ代表スル者ガ一名モ這入ッテ居ラナイデヤナイカ、單ニ消費者側ノ官吏ノ方ミトカ、局長トカ何トカ云フ政府ノ御意思ヲ代表スル所ノ人ミガ、主ナル委員デアッテ、農業方面ノ人ハ殆ドナイ、此地方ノ事ヲ相談スルモノガ斯様ナ者デハ困ル、斯ウ云フヤウナコトハ——當事者側ノ這入ラヌヤウナ左様ナ委員會デハ殆ド死物デアルト信ジマス、此點ニ對シテ——米穀法委員會運用開始以來、幾回御開催ニナツテ居リマス、サウシテドウ云フコトヲ是等ニ諮問シテ、ドウ云フコトヲ實行ナサレタカ、將來ハ又如何ニサレル御方針デアルカラ伺ッテ置キタイ

○三土政府委員 是迄ハ米穀委員會ト云フモノヲ開イタコトハ少イヤウデアリマス、ソレハ法律ガ數量ノ増減ト云フコトヲ目的ニ致シテ居リマシタカラ、米ノ實收額ガ分ッテ、サウシテ臺灣米朝鮮米ノ輸入額ノ見込ガ付キ、愈米ガ何レダケ不足デアアル、又政府ガ今持ッテ居ル米ハ何レ位アッテ、之ヲ幾ラマデ賣ルガ宜イ、斯ウ云フ一箇年ノ計畫ニ

○三土政府委員 外米ノ買付ヲ商人ノ手ニ委セバ政府ガ直接内地ニ使用スル額ダケヲ買フタラドウカ、即チ外米ノ專賣ヲ——監理ヲシタラドウカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ屢、起ル問題デアリマシテ、農商務省ニ於キマシテモ絶エズ研究ヲシテ居リマスガ、ドウモ政府ガ外米ヲ一手デ買付ケテ、民間ノ人ニ委サヌト云フ事ニ決定致シマスルト云フト、モウ第一回ノ收穫豫想若クハ第二回ノ收穫豫想ガ決シマス、外米ノ市場ニ於テ價格ヲ刺戟スルノデアリマス、國家全體ノ經濟カラ申シマス

ト云フト、商人ニ委シテ時機ヲ見テサウシテ適當ニ買フ方ガ、政府ガ買フト極メテ掛カルヨリハ安ク付クノデアリマス、國家全體ノ經濟カラ申シマス、云フト、外米ヲ政府ガ監理ヲシナイ方ガ得デアル、斯ウ云フ考カラ政府ハ今迄外米ヲ政府デ監理セヨト云フ人モアリマシタケレドモ、之ニ對シテ實行ヲ致サヌノデアリマス、又現在吾々ノ研究ニ於キマシテハ外米ヲ政府デ直營ニスルト云フコトハ極メテ經濟上ノ不利益デアル、斯ウ考ヘタノデアリマス、ソレカラ關稅ノ増減ト云フノガアリマスガ、無論非常ナ豐作デアッテ外米ヲ入レテハイカスト云フヤウナ場合ハ適用スル積リデアリマス、唯先程申シマシタ通り十年ナラ十年ヲ平均シテ見マス、云フト、米ノ供給不足ト云フコトノ場合ガ多イノデアリマス、デ之ヲ適用スル場合ハ私ハ非常ニ少イダラウト思フ、適用スル必要ガアレバ何時デモ適用スル積リデアリマス

○八田委員 ソコデ伺ッテ置キタイノハ、米穀法ノ運用ト同時ニ米穀委員會ト云フモノヲ政府ハ制定サレタノデアリマス、此米穀委員會ハ米ノ買上若クハ賣拂ト云フヤウナコトニ付テ、ソレ——諮問ヲナサル機關デアルト信ジマスルガ、幾回ハ御開キニナツタノデアアルカ、唯徒ニ——委員會ノアルト云フコトヲ私共ハ知ッテ居ルモノデスカラ、其委員會ニ相談ノ實情ヲ示サレテ、サウシテ諮問シタル結果此本法ノ運用ヲサレテ居

○三土政府委員 是迄ハ米穀委員會ト云フモノヲ開イタコトハ少イヤウデアリマス、ソレハ法律ガ數量ノ増減ト云フコトヲ目的ニ致シテ居リマシタカラ、米ノ實收額ガ分ッテ、サウシテ臺灣米朝鮮米ノ輸入額ノ見込ガ付キ、愈米ガ何レダケ不足デアアル、又政府ガ今持ッテ居ル米ハ何レ位アッテ、之ヲ幾ラマデ賣ルガ宜イ、斯ウ云フ一箇年ノ計畫ニ

賣ルガ宜イ、斯ウ云フ一箇年ノ計畫ニ

付キマシテ委員會ハ開イタバカリノヤ
ウデアリマス、只今賣ルカ何時買フカ
ト云フコトニ付キマシテハ、委員會ハ
開イテ居ラスヤウデアリマス、ト云フ
ノハ數量主義デアリマスカラ、一箇年
ノ需給關係ヲ見テ、外米ヲ例ヘバ二百
萬石買フ、或ハ内地米ヲ五十萬石拂下
グル、斯ウ云フコトダケヲ委員會ニ懸
ケテ居ッタヤウデアリマスガ、今度此法
律ガ改正サレマシテ、市價ト云フモノ
ガ這入リマスト云フト、隨テ今迄ヨリ
モ買上、賣却等ノ機會ガ多クナルト思
フ、又多クナルノミナラズ、市價ト云フ
關係ガアリマス爲ニ、委員會ニモト重
キヲ置イテ多ク開カナケレバナラスト
思ヒマス、是迄トハ違ッテ法律ノ改正ノ
結果トシテ、委員會ハ度々開クコトニ
シタイト考ヘテ居リマス、同時ニ又委
員ノ顔振ニ付テハ私共ハ矢張八田君ト
同意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、今回
此法律ノ改正ト共ニ委員會ニ對シマシテ
モ多少變更ヲ加ヘル積リデアリマス
○八田委員 私人質問ハ是デ止メマス
○井上委員長 丹下君
○丹下委員 私人米穀法改正案ニ付キ
マシテ一ツ御尋ラシタイト思ヒマス、
本法ノ制定サレマシタノバ、要スルニ
數量ノ過不足ニ依ッテ米穀ノ暴騰暴落
ヲ來スノヲ之ヲ調節スル之ヲ防止スル
ト云フ爲ニ、詰リ生産者モ消費者モ需
給ノ調節ニ依リマシテ——數量ノ調節
ニ依リマシテ生活ノ安定ヲ期シタイト

云フコトハ申スマデモナイコトデアリ
マスガ併シ其當時ノ周圍ノ狀勢ヲ考ヘ
テ見マスルト、又本法制定前ニ於キマシ
テ、政府ガ數回豫備金ヲ支出シテ米ノ
買入ヲ致シマシタ趣旨等ニ考ヘテ見マ
シテ、先ヅ主トシテ米穀ノ下落ノ結果、
生産者タル農民ノ困憊ヲ緩和シテ其經
濟ノ調節救済ヲスルト云フコトガ主タ
ル目的デアッタト云フコトガ吾ミガ思
フニハ事實デアラウト思ッテ居リマス、
併ナガラ農民ト致シマシテハ所謂生産
者ト致シマシテハ、單ニ數量ノ調節ト
云フコトノミナラズ今少シ徹底シタ
イ、即チ價格ノ維持ヲ或ル程度マデ目
的トシテ大ニ本法ノ活用ヲ希望シタイ
ト云フノデアリマス、其後數回本法ノ
運用ニ依リマシテ、政府ハ米ノ買上ヲ
實行サレマシタノデアリマスガ、其買
上數量——屢々實行サレマシタ數量ノ
コトハ只今八田君ガ既ニ御質問ニナリ
マシテ、私共ノ御尋ラシタイト云フ所
ハ濟ンダヤウデアリマスガ、此數量ノ
調節ニ依ッテ幾ラカ價格ノ安定ヲ期ス
ルト云フ御答ノ目的ガ一向違セラレテ
居ナイト思フノデアリマス、ソレニ付
テ吾ミハ本法ノ改正ヲ——モット力ア
ル價格ノ維持ニ付テハ改正ヲ希望シテ
居ッタノデアリマスガ、此度ハ單ニ「需
要調節上」ト云フコトヲ「數量又ハ市價
調節上」ト云フコトニ改正サレタ切リ
デアリマス、隨テ次官ノ説明ニ依リマ

スト、從來ノ需給調節上ト云フコトダ
ケデハ價格調節上ニ遺憾ガアル、市價
ノ平準ヲ保チ又市價ノ亂高下ヲ防グ爲
ニ此文字ヲ入レルコトガ必要デアルト
云フ説明デアッタノデアリマス、然ルニ
昨年ノ夏ノ特別議會ニ於キマシテ、米
穀法改正ノ問題ニ付テ高橋農商務大臣
ガ本議會ニ辯明サレテ居ル所ヲ速記録
ニ就テ一應讀ンデ御尋ネテ致シタイト
思ヒマス、高橋農商務大臣ハ斯ウ云フ
コトヲ言ッテ居ル「米價ノ調節ト云フコ
トヲ之ヲ理想ヨリ言ヘバ政府ノ專賣ニ
スルト云フノモ確ニ一ツノ手段ニ違ヒ
ナイ、又最低最高ノ價格ヲ定メテ政府
ガ之ヲ賣買スルト云フコトモ確ニ調節
ノ手段ニ違ヒナイノデアアル、抑テ此現
在行ハレテ居ル所ノ米穀法ナルモノニ
依ッテ、其實行セラレル路ヲ調べテ見マ
スト云フト、從來ノ米價ノ變動ハ其數
量ノ過不足等ニ依ッテ激變ガアッタ、ソ
レト較ベテ見マスと云フト、此米穀法
ナルモノ、施行ハ先ヅ有益デアッタト
私ハ認メルノデス、唯、其點ニ於テ今日
遺憾ヲ感ズルノハ、單ニ數量ノミニ考
ヲ置イテ、價格ト云フ——米價米ノ市
價ト云フコトヲ考慮ノ中ニ入レナイ、
ソレ故ニ此二三年實行セラレタ跡ニ
依ッテ見マスと云フト、米價ノ如キガ下
ガラズトモ、宜イ所マデ下ッテ行ク、若
シ此時ニ於テ米穀法ノ施行ヲ適用シタ
ナラバ、斯クマデ下ラズト濟ンダラウ
ト思フヤウナ節ガアル、此實行ノ當局

ニ當ッタ人ニ聞イテ見マシテモ、如何ニ
モ其通りデアアル、若シ此時ニ價ヲ考慮
ノ中ニ入レテ、此法ヲ施行シタナラバ、
米價ノ暴落ハ此處ヲデ止ッタモノト自
分ハ信ズルト云フヤウナ答ヲ得テ居
ル、ソレ故ニ就職後直ニ私ハ從來ノ數
量ノミヲ目的トシテ此法ヲ施行スルト
云フコトヲ止メテ、數量ト市價ト併
セ考ヘテ此法ヲ行ッテ見ルヤウニト云
フコトヲ命令シタ次第デアリマス、尙
ホ之ニ依ッテ其實績ガドウデアアルカト
云フコトヲ調べテ見タイト思フ」中略
「以上ハ今日ノ米穀法ニ依ッテ、施行上
ノ注意ニ依ッテ、成ベク米價ノ變動ノ差
ヲ少クシ、米價ノ平準ヲ得ルヤウニ努
メル、一方ニ於テハ不足ガアルト言ッ
テ、俄ニ狼狽ヲシナイヤウニ豫メ備ヘ
ル、斯ウ云フヤウナコトヲ行ッテ行ク
ガ、行政上カラ考ヘテ適切ナルモノデ
アラウト考ヘテ居ル」斯ウ云フ御答辯
ニナッテ居ルノデアリマス、此御答辯カ
ラ見マスルト云フト、別段米穀法ノ上
ニ斯ノ如キ市價調節トカ云フ文字ハ入
レテナイガ、現在ノ米穀法ニ於テ矢張
市價ト數量ト併セ考ヘテ、此法律ヲ
施行シタナラバ其目的ハ達シ得ラレル
モノデアルト云フコトヲ明言サレテ居
ル、其後然ラバ三箇年間に此趣旨、此方
針ニ依リマシテ、米穀法ヲ運用サレタ
結果是デ支障ガアルト云フコトガ起ッ
テ來タノデアアルカ、又其當時ノ考ヘガ
間違ッテ居ッテ、引續イテ本法ノ改正ノ

必要ヲ認メタモノデアルカ、其後ノ經過成績等ヲ一應承ツテ見タイと思ヒマス

○三土政府委員 特別議會ニ於テ農商務大臣ノ言ハレタコトハ、今御讀上ゲニナリマシタガ、農商務大臣ハ其通リ考ヘテ居ルヤウデアリマス、昨年私共ガ農商務省ヘ這入リマシテ以來、其方針デヤツテ見タノデアリマス、果シテ市價ト云フモノヲ入レル必要アリヤト云フコトヲ研究シタノデアリマスガ、最初申シマシタ通り米穀ノ需給ノ調節トアリマスルカラ、需給ト云フ言葉ヲ廣義ニ解釋スレバ、市價マデ入レテ構ハスト思ヒマスガ、立法ノ趣旨ニ於テ政府ガ數量ノミノ調節デアルト云フコトヲ屢々聲明致シマシタ爲ニ、爾來サウナツテ居ルノデアリマス、價格ト云フコトヲ離レテ數量ノ調節ハナク、又數量ト云フコトヲ離レテ價格ノ調節ハナイト云フコトガ私共ノ考ヘデアリマス、昨年六七月以來、多少ノ價格ト云フコトヲ加味シテ米ノ賣拂、買上等ヲ致シテ見タノデアリマス、ソレニ致シマシテモ表面ニ現ハレテ居ラスト云フコトガ何ダカ支障ヲ生ズルヤウニ思ハレマスノデ、今回之ヲ變ヘヤウト思ヒマス、例ヘバ八九月頃ニ數量關係カラ言フトドウモ米ガ非常ニ不足デアアル、何故外米ヲ買ハヌカト云フコトヲ屢々言ウテ參ッタノデアリマスケレドモ、其當時ノ價格ハヤット農民ノ安心スベキ價格ニ

達シタノデアアルカラ、暫ク見テ居ヤウト云フノデ、價格ニ重キヲ置イテ外米ヲ輸入致サナカッタノデアリマス、ソレカラ昨年ノ秋、端境期ニ近クナツテ來テ米ガ非常ニ高クナツテ來マシタ、其時ニハ非常ニヤカマシイ問題ヲ起シサウデアリマシタガ、政府ハ持米ヲ賣リマシテ、單ニ賣リダケヲ致シマセヌデ、賣ルト同時ニ出廻期ニ於テ買付ケルト云フコトヲ聲明致シタノデアリマス、是ハ政府ガ賣ッタ爲ニ先物ガ下ツテハ困ルカラ、收穫時期ニ農民ノ懷ロヲ裕カニスルト云フコトニ對シマシテ相當ノ考慮ヲセメケレバナラスト云フノデ、價格ニ重キヲ置イテ、賣リマスル時分カラ既ニ買上ノ聲明ヲ致シタノデアリマス、之ガ爲ニ先物ハ餘リ下ラナカッタ、斯ウ云フヤウニ色々苦心ヲ致シテヤツテ見マシタ、併シ正々堂々市價ト云フモノヲ入レテヤル方ガ仕事ガヤリ易イト云フノデ、此法案ヲ提出致シタ次第デアリマス

○丹下委員 只今ノ御説明ニ依リマシテハ、今讀上ゲマシタ高橋農相ノ御聲明ニナツタ趣意カラ考ヘテ、十分分リマセヌケレドモ、如何ニモ追求スルヤウデアリマスカラ、此程度デ止メテ置キマス、今後運用ニ付キマシテハ十分ニ御注意ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、ソレカラ從來米穀法ヲ運用セラレタ成績ガドウデアアルカト云フコトヲ、實ハ一ニ私承知致シテ居リマセヌ、例

ヘバ買入レタ價格、賣却ノ價格、數量、其法ノ運用ニ依ッテ一般市價或ハ生産者、消費者等ニ及ボシタ影響、特別會計法ニ依ル借入金、證券等ノ狀況ト云フヤウナ事柄ニ付テ、何カ一目成績ヲ見ルベキモノガアリマシタナラバ、御廻シヲ願ヒタイ、ソレカラ輸入稅撤廢ノ問題、是レ亦既ニ八田君カラ詳細ニ論ゼラレマシタカラ、最早重ネテ言フ必要モナイヤウデアリマスガ、稍、生産者ガ生産費ヲ償ヒ得ルカト思ハレル程度ニナツテ來ルト云フト、直ニ政府ハ輸入稅ノ撤廢等ヲシテ、ソレガ爲メニ著シク市價ニ影響ヲスルト云フコトハ、如何ニモ八田君ノ御意見ノ通り、生産者ニ薄クシテ獨リ消費者ニノミ厚イヤウナ感ジガアルノデアリマス、殊ハ本年ノ如キハ聞ク所ニ依リマスルト、外米ノ產地ニ於テハ非常ニ豐作デアツテ、價格モ相當低廉デアルト云フコトデアリマス、ソレデ内地ノ市價ガ相當ニ保ッテ居ルナラバ、外米輸入商ハ必ズシモ輸入稅ヲ免除サレナタトモ、採算上適當デアルナラバ輸入ヲスルコト、思ヒマス、内地ノ市價ガ相當ニ保ッテ居ル以上ハ、端境期マデノ米ノ數量ガ著シク不足シテ居ツテモ、必ズヤ價格ノ爲ニ輸入高ハ相當購入スルコト、思フ、然ルニ只今三土次官ノ御話デハ、米穀法ノ第二條ノ運用ガアルカラ、外米輸入商ハ政府ノ手心ヲ眺メテ居ツテ、容易ニ輸入ヲシナイト云フヤウナ意味ノ御答ガ

アッタノデアリマス、私ハソレヲ反對ニ考ヘマシテ、政府ハ何カト云フト直ニ輸入稅ヲ免除スルノデアアルカラ、今暫ク輸入ヲ我慢シテ居レバ、直ニ政府ハ稅ヲ撤廢スルデアラウ、サウスレバ輸入ノ上ニ於テ非常ナ利益ヲ得ルコトハ明瞭デアアル、故ニ却テ輸入ノ數量ガ少クナル、輸入ノ調節ヲ失フト云フヤウナ結果ヲ見ルノデハナカラウト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ政府ノ御意見ヲ承リタイ

○三土政府委員 米穀法實施以後ノ價格ガ如何ニ動イテ居ルカト云フ實績ハ、隨分浩瀚ナモノデアリマシテ、精密ニハ分リマセヌ、後デ調べテ見マセウ、ソレカラ關稅撤廢ノ問題デアリマス、關稅ノ問題ハ米ノ價格モ勿論デアリマスケレドモ、國民全體ノ食糧需給ト云フコトヲ眼目ニ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、若シ五百萬石モ不足スル場合ニ於テ——端境期ニ近ヅイテ米ガ不足スルト云フヤウナ場合ニハ、隨分不安ヲ來スノデアリマス、斯ウ云フ時ニハ成ベク外米ヲ消費サスコトニサセ、代用食ヤ何カデ内地米ノ節約ヲサスト云フヤウナコトニ致シマシテ、需給關係ヲ圓滑ニスルコトハ國家全體ノ政策上必要デアルト思フノデアリマス、今日マデニ於テモ五百萬石以上不足シタ場合ニハ、必ズ關稅ヲ撤廢致シテ居ル、ノミナラズモット早ク實行シテ居ル、大抵ハ十一月一日カラ翌年ノ十

月マデ撤廢スルヤウナコトガ多イノデアリマス、併シ私共ハ今年ノヤウナ年ハ關稅ヲ撤廢セズニハ濟マスト考ヘアル、濟マストスレバ、ヤラナケレバナラナイト云フコトハ商人モ見越シテ居リマスカラ、之ヲギリ／＼結著マデ引付ケテ其上デ斷行スルト云フノデアリマス、外米商人ヲシテ、成ベク外米ヲ安ク入レサセ、經濟力ノ弱イ人ヤ、朝鮮、東北地方、北海道、九州ノ一部等、需要ノ多イ地方ヘ成ベク安イ外米ヲ食ハセルト云フコトハ、政策上必要デアルトモ考ヘタノデアリマス、期間モ是迄ヨリハ短ク致シテ、八月末日マデト致シタ譯デアリマス、要スルニ政府ハ關稅ヲ撤廢セズニ濟メバ成ベク撤廢セズニヤル積リデアリマスガ、國民全體ノ上カラ已ムヲ得ザルコト、シテ、之ヲ斷行シタ次第デアリマス

○丹下委員 只今ノ御説明ニ依ッテ略了解致シマシタガ、配布サレテ居リマス別表中、月別ノ輸入額ヲ承知致シタイト思フノデスガ

○三土政府委員 米穀ノ需給ニ關スル統計ト云フ二枚目ニアリマス

○丹下委員 此表デ見マスト、四、五、六、ト云フノガ非常ニ額ガ多イヤウデアリマスガ、矢張ソレデモ輸入稅ヲ撤廢スル心要ガアリマスカ

○三土政府委員 此輸入額ハ三、四、五月ガ一番多イノデアリマスガ、此三月ニ道入ルモノハ二月カラ商談ガ調フノ

デアリマス、商人ノ計畫ト致シマシテハ二月ノ關稅ガドウナルカト云フコトガ定ッテ居ラナケレバ、斯ウナラヌ譯デアリマス

○松山委員 私共ハ米穀法ノ改正ハ年來ノ主張デアリマシテ、今回政府ガ市價ト云フコトノ文字ヲ入レラレマシタコトハ非常ニ満足スル次第デアリマス、尙ホ今回米穀法ガ改正サレルニ付キマシテ、私共ハ此市價ト云フコトヲ入レルト云フ改正ノ外ニ、矢張八田君ガ述ベラレタト同ジヤウナ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、第二條ノ外米ノ

「米穀ノ輸入稅ノ増減免除」ト云フコトヲ、此勅令デ容易ニヤラレルト云フコト、是ハ米穀法ノ運用ノ上カラ申シマシタナラバ、ソレガ必要デアリマセウ、ケレドモ凡ソ關稅定率法ニ内地ノ商品ノ保護トシテ關稅ヲ設ケテ置ク以上ハ、此關稅ノ定率ト云フモノヲ容易ニ増減或ハ免除スベキ性質ノモノデハナイダラウト思フ、已ムヲ得ナイ變態ノ場合ニ於テ此除外例ヲ認メルト云フコトハ、或ハ已ムヲ得スカモ分リマセヌガ、既ニ米及粳ニ付キマシテハ關稅定率法ノ第六條ニ「米及粳ノ輸入稅ハ凶作ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ期限ヲ指定シ毎百斤四十錢ヲ限度トシ之ヲ低減スルコトヲ得」ト云フ除外例ヲ設ケテアル、此緊急勅令ガ許シテアル上ニ、米穀法ノ第二條ニ於テ之ヲ許スト云フコトニナルト、殆ンド關稅定率法ノ此

米ノ關稅ト云フモノハ、何ノ爲ニ設ケラレテアルカト云フコトガ分ラヌコトニナル、除外例ニ次グニ除外例ヲ以テシテ居ル、本法ノ根本精神ト云フモノハ米ト云フモノヲ保護スベキモノデアルガ、此精神ト云フモノガ疑問ニナッテ來ルダラウト思フ、コンナニ除外例ヲ二重ニモ設ケルト云フヤウナ事柄ガ

而モ其除外例ノ運用ノ方法ガ適當デナイトシタナラバ、愈以テ是ハ改正シナケレバナラヌモノデハナイカト私ハ思フ、是亦既ニ八田君ノ質問ニ對シテ三土政務次官ノ懇切ナル御答辯モアリマシタガ、私ハ實例ヲ舉ゲマシテ此除外例ノ運川ガ相當デナイト云フコトヲ立證シテ見マセウ、政府ハ——今ノ政府デヤアリマセヌガ大正十二年ノ關東地方ノ大震災火災ノ直後ニ於キマシテ、復興材料若クハ重要食料品五十七種類ニ付テ、關稅ヲ或期間ヲ限ッテ撤廢セラレタト云フコトガアル、大正十三年三月三十一日ヲ期限トシテ撤廢ヲサレタ、其當時ニ於キマスル所ノ此米ト云フモノ、需給關係ハ、政府ハ明ニ大正十一年度ノ殘存米ト其當時ノ生産米トヲ以テシテ、サウシテ共大正十三年度ノ端境期ニハ百萬石餘ルト云フ計算ヲ示サレテ居ッタ、デ百萬石餘ッテサウシテ大震災火災ニ依ッテ失ハレタル所ノ米穀ノ數量ハ深川市場ノ倉庫ニ在ッタ所ノ約三十萬石ノ米ト、東京橫濱ノ各倉庫ニ貯藏サレテ在ッタ二十萬石ヲ計算

シテ居ルガ、此五十萬石燒失サレテモ尙ホ五十萬石餘ッテ居ル、ソレデアルカラ大震災火災ニ依リマシテ食糧ノ缺乏トカ或ハ缺乏ニ依ッテ著シク米ノ市價ガ上ルト云フコトハ、内地米ノ配給ヲ潤澤ニサヘシタナラバ、サウ云フ虞レハナカッタラウト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、政府ハ其當時ニ於テモ米ノ輸入ニ付テ關稅ヲ撤廢シテ、輸入ヲ容易ナラシムルト云フ目的デ、遽々然トシテ五十七種類ノ中ニ米ノ關稅ノ撤廢ヲ加ヘラレタノデアリマス、而モソレガ他ノ種類ノモノハ翌年ノ三月三十一日ヲ以テ廢ラレタガ、米ニ限ッテ七月三十一日マデヤラシテ居ル、斯ウ云フヤウナ運用法ハ如何ニモドウモ其當ヲ得テ居ラヌ運用デアルト云フコトデ、時ノ農商務大臣前田サニ向ッテ私ハ再三言ッタコトガアルノデアリマスルケレドモ、一向ソレニ耳ヲ藉サズ、御用ヒガナカッタ、サウ云フコトヲヤッテ居ラレル、此米ノ關稅ト云フモノハ關稅定率法ノ本法デ出來テ居ッテ、其除外例ガ第六條ニ設ケテアル、又ソレヲ米穀法ノ第二條デ弄クルト云フコトデ、而モ只今三土次官ノ御言明ニ依リマスト、米ノ増スト云フコトハ今マデハ無イト云フコトデアルガ、實際ニ於テ出來ナイコトデアル、之ハ丁度形容シテ言フト、一旦緩急アレバト云フ語ハ、急ト云フ場合ダケデアッテ、緩ノ言ハ急ノ附合ニ持ッテ來タダデアル、サウスルト増減

ト云フコトハ急アレバト言ッテヤウナ
感ジガスルノデアリマス、殆ド日本ノ
今日ノ生産額ト消費額トニ付テ申シマ
スレバ、此増ト云フ字ガ現レルト云フ
コトハ殆ド私ハ無イト思フ、サウ云フ
ヤウナコトデ米ガ足ラヌカラシテ、之
ヲサウ云フ風ニシテヤラネバナラヌト
云フコトデアレバ、其所ニ私ハ政策ノ
齟齬ガ在ルト思フ、寧ロ私ハ内地米ヲ
或程度ノ價格ノモノニ引上ゲテ置イテ、
サウシテ一割ノ增收デモ圖ツタナラバ、
外米ノ輸入ニ待タナクテモ宜イト思
フ、コンナ工合ニ關稅ト云フモノ、保護
稅率ヲ定メテ置イテモ、其保護稅率ガ
殆ド空文ニ過ギナイ、又米穀法ノ第二
條ト米ノ關稅定率法ト云フモノハ有ッ
テ無イヤウナモノデアアル、而モ之ガ相
當ニ運用サレルナラバマダシモ、其運
用ヲ一旦誤ルト云フコトニナッタナラ
バ、實ニ是ハ米ノ關稅ト云フモノハ關
稅定率法ニア、云フモノヲ何デ定メテ
アルカト云フコトガ分ラナクナルト思
フ、斯ウ云フ意味合カラシテ私ハ此第
二條ニ向ッテハ、矢張是ハ關稅定率法ト
云フヤウナ動カスベカラザルモノヲ殆
ド毎年々々弄クル、殆ド弄クラナケレ
バ——米ノ數量ガ足ラナケレバ米ノ關
稅ノ撤廢ト云フコトヲ常習的ニヤラレ
ル、是デハ米ノ關稅定率法ト云フモノ
ハ空文ニナッテシマフデハナイカ、サウ
云フ意味合カラ此第二條ヲ勅令ヲ以テ
大臣ノ權能ニ移スト云フコトハイケナ

イ、法律デ定メテアルモノヲ勅令ヲ以
テ動カスト云フコトハイケナイ、ソレ
モ五年目十年目ニ一遍ト云フコトナラ
バ未シモ、毎年ヤラナケレバナラヌト
云フコトヲ此所ニ規定シテアル、米穀
法ダケノ運用ノ立場カラ言ッタナラバ、
サウヤッタ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、
苟モ一方ニ關稅定率法ト云フモノガ定
メテアル以上ハ、ソレヲ破ルト云フコ
トヲ常習的ニヤルト云フ此條文ヲ置ク
ト云フコトハ私ハ不都合デアルト考ヘ
ル、此意味合カラ、私ハ折角此米穀法ノ
改正ヲナサツテ、サウシテ吾々多年ノ間
願ッテ居ル通り、此市價ト云フモノヲ入
レテ、サウシテ數量並ニ價格ノ御調節
ヲ爲サルト云フコトデアリマシタナラ
バ、矢張第二條ノ關稅定率法ト云フ
モノニ付テノ改正ト云フモノハ、今一
應御考ヘ下サツテ、之ニ向ッテ改正ヲ企
テラレルト云フ御意思ガ無イノデア
ルカ、更ニ私ハ之ヲ御尋ネスル

○三土政府委員 米穀法ノ運用上、第
一條ノ關稅撤廢ヲ勅令ニ委セルト云フ
コトヲ罷メテ貰ハヌデハ困ルト云フコ
トハ、先刻モ申シタト思ヒマスガ、松山
君ノ仰シヤル通り關稅定率法ノ第六條
ニ於テ勅令ヲ以テ減免スルコトガ出來
ルヤウニシテアル、米穀法ヲ制定致シ
マス時分ニ緊急勅令デハ困ルト云フ意
見モアツタガ、緊急勅令ハ屢、出シテ居
ル、ソレ位出スナラバ勅令ニ讓ッタ宜
イデハナイカト云フノデ勅令ニ讓ラレ

タルデアルト思ッテ居ル、若シ此第二條
ノ關稅ノ減免ト云フコトヲ勅令ニ委任
シテアル、ソレヲ削ッタラドウ云フ結果
ニナルカト云フト、削ッテモ矢張米穀ノ
需給調節上、緊急勅令ヲ出サナケレバ
ナラヌ場合ガ多クナリヤセヌカト思
フ、現ニ此米穀法制定前ハドウデアツ
カト申シマス、米穀法ハ大正十年ニ
出來タガ、大正七年八年九年ト皆緊急
勅令デ免稅シテ居ル、ソレカラ復活シ
タルノガ大正十年ダケデ、十二年度ノ初
メニ始メマシテ、後ハ矢張免稅シテ居
ルノデアリマス、實際ノ必要上緊急勅
令デナケレバヤレヌト致シマシテモ、
此米穀法ノ委任ガ無クテ、此關稅定率
法ダケノ緊急勅令ヲ出ス場合ガ多イ、ソ
レカラ政府ガ此運用ニ對シマシテ相當
ノ考慮ヲ拂ッテ行クナラバ此條文ハ必要
デアルト思フ、殊ニ近頃農村振興ト云
フ聲モヤカマシイ、爲政者モ相當政黨
政治ガ發達シテ來レバ、農村ノ事情ニ精
通シタル人ガ其局ニ當リマシヤウニナル
カラ、松山君ノ御心配スルヤウナコト
ハナイト思ヒマス、矢張大局カラ見テ
需給調節ノ關係カラ、第二條ノ關稅減
免ト云フモノハ設ケテ置カナケレバ能
ク行カヌト思フノデアリマス

○松山委員 ソレハモウ改正ノ御意思
ガナイト認メマス故、是ハ質問トシテハ
モウ此以上ヤリマセヌ、ソレカラ又第
二條ニ在リマス所ノ「米ノ輸入若ハ輸
出ヲ制限スルコトヲ得」ト云フ制限ガ
アルヤウデスガ、其結果其運用上餘リ
米ガ足りナイト云フコトニ落付ク爲
ニ、外米ノ輸入ヲ撤廢ナサル、ソレガ爲
ニ這入ッテ來ル數量ガ段々必要トスル
高ヨリモ多クナツテ參ッテ居ルヤウナ形
ガ現ハレテ來テ居ルノデアリマス、ソ
レハ毎年ノ端境期ノ十一月一日ノ殘存
米ト云フモノニ現ハレテ來テ居ル、丁
度米穀法施行前ノ三箇年ノ端境期ノ殘
存米ハ約四百萬石デアッタノデアリマ
スガ、本法施行以來ノ三箇年ノ平均數
ハ七百萬石以上ノ殘存米ガ殘ッテ居ル
ノデアリマス、此殘存米ガ殘ルト云フ
コトハ食料ヲ潤澤ナラシムルト云フ上
カラハ大變結構ノヤウニ思ヒマスケレ
ドモ、併シ必要トスル程度ヲ越シテ殘
存米ガアルト云フコトハ直ニ其年ノ米
價ニ影響スルコトニナッテ、ル、此第二
條輸入ノ量ノ制限ト云フコトハ餘リ爲
サラヌヤウニ思フノデアリマスガ、其
結果必要以上ノ輸入米ニ依ッテ殘存米
ガ出來テ來ル、其結果ガ矢張内地米ノ
市價ニ影響スルコトニナルト考ヘルノ
デアリマスルガ、其邊ハ如何ナ御考デ
ゴザイマス

○三土政府委員 米穀ノ統計ガ極メテ
不完全ナルコトハ松山君モ御承知ノ通
リデアリマス、今年ノ米ノ收穫ニ付テハ
多少疑ッテ居ルノデアリマスガ、段々町
村役場ノ人モ米ノ需給關係ニ精通シテ
來マシテ、餘リ多クアルト米ガ下ルノ
デ、茲ニ手加減ヲスルノデハナイカト

思フノデアリマス、ソコデ今回ノ外米ノ關稅定率法ヲ撤廢スルニ當リマシテ、本年度ノ需給關係ヲ調ベルニ付テハ、私モ大變手加減ヲ致シマシタ、内地ノモノハ別ト致シマシテ例ヘバ朝鮮米ハ今マデノ豫想ニ依ルト、一昨年ヨリ二百二十萬石程、減收ノ見込デアリマス、隨テ朝鮮ノ移入米ハ本年ハ減ルト云フ計算ヲ今迄ハ探ッテ來タノデアリマスガ、併シ内地米ノ出廻期ニ於テ四百萬近クノ朝鮮米ガ這入ル來ル、是ハ朝鮮ニ於テハ滿洲カラ這入ル粟ヤ黍ヲ喰ッテ、サウシテ内地ニハ何百萬石ト云フ朝鮮米ヲ入レルコトガ出來ル、斯ク毎年餘程多ク這入ルモノト思ヒマシテ計算ヲ致シマシタ、臺灣米ニ致シマシテモ相當ニ這入ッテ來ルト思ヒマスガ、前三年ノ計算ノ平均ヲ持ッテセズ、成ベク豫定數量ト實際數ト違ハヌヤウニ致シタイノデアリマス、併シ是ハ基礎ガ甚ダ薄弱デアリマスガ爲ニ、現在ニ於テハ殘存米ガモット餘計ニ殘ルノデアリマス、昨年ノ端境期ニ於テモ此殘存米ハ農商務省ノ豫想ヨリ多カッタヤウデアリマス、丁度政府ノ豫算ガ決算ニ於テ非常ニ多クナルト同ジヤウニナルノデアリマス、私共ハ經驗ハマダ淺イノデアリマスガ、此時ニ最モ注意シテ成ベク實數ニ近イヤウニ致シタイ考デアリマス

○松山委員 ソレカラモウ一ツ先程八田君カラ御尋ガアッタノデアリマスガ、政府ガ米ヲ、買上ゲマス時ニ豫定數量ダケハ買ヘナイ、私ハ今日ノ買方デハドウシテモ買ヘナイト思フ、何故ナラバ政府ハ買上價格ヲ告示ナサルカラ結局買ヘナイコトニナル、寧ろ政府ガ豫定ノ買上ヲ爲サル價格ヲ其通り公示ラナサラズ、内密ニ之ヲヤラレタナラバ買ヘルノデアルト思フ、之ヲ一般ニ告示スルカラ買ヘナイト私ハ思フノデアリマスガ、其邊ノ御考ハ如何デゴザイマスルカ、此告示ヲ爲スト云フ法文ノ改正ヲ爲サル御意思ハアリマセヌカ

○三土政府委員 ソレハ米穀法ノ第三條ニハ御承知ノ通り米ヲ買フ時分ニハ價格ヲ告示スベシト云フ規定ガアルノデアリマス、併シ身代米ノ場合ニハ其方法ヲ執ラヌデモ宜シイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ先ヅサウ致シテ居リマスガ、併シ今後ハ身代米ヲ買フト云フ場合ガ多クナリハセヌカト思フ、サウ致シマスレバ告示ニ依ラヌデモ宜イノデアル、ソレカラ價格ノ告示ニ依ルト云フト、米ヲ百萬石ヲ買フト云フテ發表シテ實際ハサウ買ハヌ……

○三土政府委員 曩ニ申シマス通り、政府ガ米ヲ持タヌノハ結構ノコト、思フ、政府ガ米ヲ多ク持ッテ居ルト云フコトハ價格ノ調節ヲ圖ラネバナラヌカラ、成ベク政府ハ不都合ノ生ゼヌ限リハ米ハ持タヌ考デアリマス

○井上委員長 モウ正午モ少シ過ギマシタカラ、是デ本日ハ止メヤウト思ヒマスガ……

○高田委員 一寸——私ハ參考書類ノ提出ヲ求メタイノデアリマスガ、第一ハ外米ノ消費職別ト申シマスガ、即チ如何ナル人ガ多ク求メルカ、ソレカラ消費調ノ大體、無論一石、一人ノ違ヒハ出テ來マセウガ其大體……

○三土政府委員 消費量ハアリマスガ、消費別ハ分リマセヌ

○高田委員 第二ニハ是レハ豫算ニ關係ガナイカ知レマセヌガ、米穀法施行以後ノ政府米、即チ内地米、外國米ニ分ツテ、石數及金額等、内外米ノ受拂ヒ、詰リ大正十年四月一日ヨリ米穀法ガ施行サレタ、ソレ以前、政府ノ持米外米ガアルヤウニ思フ、非常ニ腐敗シタ米ナドガアッタ、ソレ以後米穀法施行當時ノ政府持米ノ石數及價格ト、其後今日マデノ買入レ、或ハ賣拂ヒニ依ッテ生シタル何ト申シマスガ、統計ニ表レタル表ガアラウト思ヒマスカラ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第三ハチヨット分リ惡イカト思ハレルノデスガ、所謂米產者ハ米ガ高ケレバ喜ブ、消費者ハ米ガ高イト困ルト云フ二色アルガ、日本ノ内地米デ生産者自身ガ消費スルモノト、生産者以外ノ者ガ消費スルモノトノ其數量幾許ノ差ガアルカ

○三土政府委員 ソレモ分リマセヌナ

○高田委員 大體デ宜シイ、第四ハ此

法律ニハ直接ノ關係ハアリマセヌガ、開墾助成法ノ實績、是ハ吾々非常ナ期待ヲ以テ開墾助成法ノ施行ノ結果ガ、到ル處之ガ行ハレマシテ、結局需給ノ目的ヲ達シ得ルト思ヒマシタガ、其後米價ノ下落ノ結果、吾々ノ豫想ヲ裏切アルニアラズヤト思ハレル點ガアルノデアリマス、故ニ開墾助成法施行以來ノ實績、政府ガ其當時豫想シタル通り此開墾助成法ノ目的ヲ達シ得ル狀況アリヤ否ヤト云フ大體ヲ伺ヒタイ、此ノ四點デアリマス

○井上委員 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマスカラ、ドウゾ御出席ヲ願ヒマス

午後零時二十二分散會

大正十四年二月十四日印刷

大正十四年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社